

# 宇城総合病院が担う 役割について(旧)

平成30年1月 宇城総合病院

1

# 宇城総合病院が担う 役割について(新)

平成30年8月 宇城総合病院

2

## 2 今後の方針

(旧)

### 【地域において今後担うべき役割】

(1) 指定医療機関の機能維持

- ・地域医療支援病院をはじめ、救急・災害・感染等の指定医療機関としての機能を継続し、地域医療の充実に寄与する。
- ・地域内外の医療機関との連携を密に推進しながら、効率のよい医療連携を推進する。
- ・地域の医療機関を対象とした各種研修を充実し、地域医療の質の向上に努める。

(2) 高度急性期機能の設置

急性期病床のうち10床を高度急性期病床に転換する。

(3) 充実した回復期機能の提供

急性期病棟1病棟を地域包括ケア病棟へ転換し、回復期機能提供の充実を図る。

1

## 2 今後の方針

(新)

### 【地域において今後担うべき役割】

(1) 指定医療機関の機能維持

- ・地域医療支援病院をはじめ、救急・災害・感染等の指定医療機関としての機能を継続し、地域医療の充実に寄与する。
- ・地域内外の医療機関との連携を密に推進しながら、効率のよい医療連携を推進する。
- ・地域の医療機関を対象とした各種研修を充実し、地域医療の質の向上に努める。

(2) 高度急性期機能の設置

急性期病床のうち10床を高度急性期病床に転換する。

2

**3 具体的な計画**  
**(1) 今後提供する医療機能に関する事項**

(旧)

**【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】**

単位：床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(平成35年)	2025年(平成37年)
高度急性期		10	10
急性期	94	40	40
回復期	106	150	150
慢性期			
その他			
合計	200	200	200

※感染症病床4床を除く

3

**3 具体的な計画**  
**(1) 今後提供する医療機能に関する事項**

(新)

**【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】**

単位：床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(平成35年)	2025年(平成37年)
高度急性期		10	10
急性期	94	84	84
回復期	106	106	106
慢性期			
その他			
合計	200	200	200

※感染症病床4床を除く

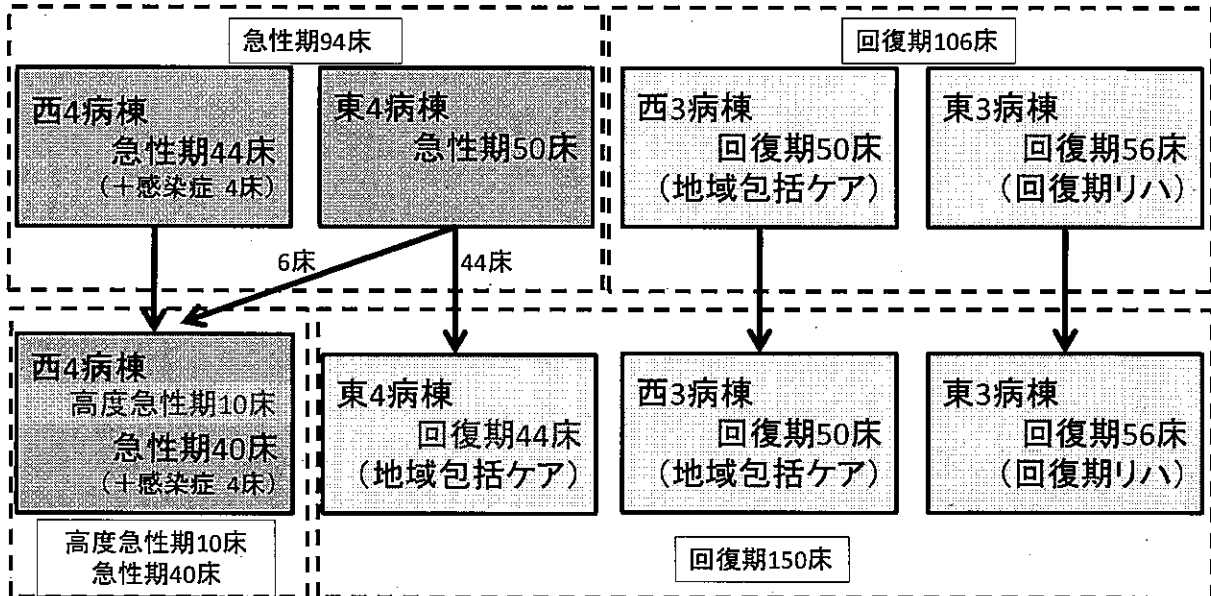
4

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### (旧) ① 4機能ごとの病床のあり方 その2

・2018年度事業計画において、現在の急性期機能94床・回復期機能106床から、高度急性期機能10床・急性期機能40床・回復期機能150床の形態へ移行する。



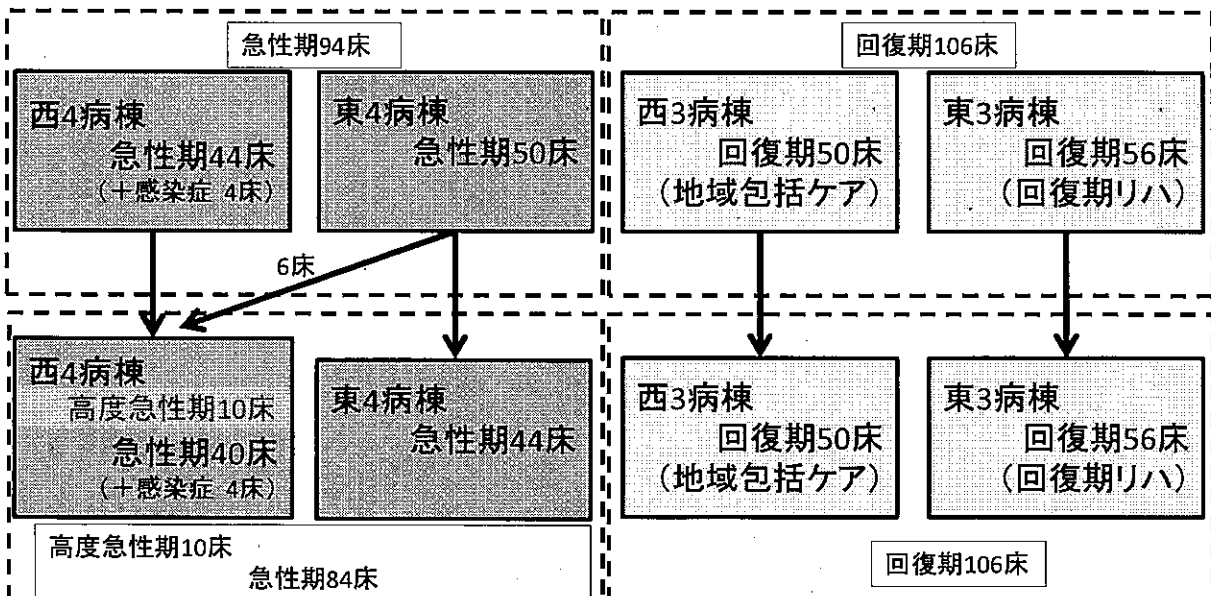
5

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### (新) ① 4機能ごとの病床のあり方 その2

・2018年度事業計画において、現在の急性期機能94床・回復期機能106床から、高度急性期機能10床・急性期機能84床・回復期機能106床の形態へ移行する。



6

# 宇城総合病院が担う 役割について(新)

平成30年8月 宇城総合病院

1

## 1 現状と課題

### 【自施設の現状と課題】

#### <現状>

- ・理念「私たちは患者さん中心の医療をとおして地域に貢献します」
- ・基本方針 良質で安全な医療を実践します  
診療機能の充実を図り地域のニーズに応えます  
接遇の向上に努め 快適な受療環境を提供します  
情報を公開し 公正な管理運営を行います  
勤務環境を改善し 魅力ある職場をつくります
- ・届出入院基本料 10:1一般病棟入院基本料 98床  
地域包括ケア病棟入院料1 50床  
回復期リハビリテーション病棟入院料1 56床
- ・主な機能 地域医療支援病院、救急告示病院、災害拠点病院、  
第二種感染症指定医療機関 など

2

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】

### ・診療実績

	平成28年度実績	対前年比
総病床数	204床	100%
病床稼働率	94.5%	103.2%
1日平均入院患者数	193名	103.2%
1日平均外来患者数	259名	106.1%
救急車搬入台数	1,446台	106.9%
手術件数	446件	98.0%
紹介率	64.1%	94.5%
逆紹介率	98.1%	93.0%

3

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】

### <課題>

#### ・医療従事者の確保

各指定医療を維持させるための医療従事者不足の問題が深刻化しつつある。各診療科専門医、災害及び感染症の担当医師、救急医療に携わる専門スタッフ等を安定的に充足させることが近々の課題である。

4

## 2 今後の方針

### 【地域において今後担うべき役割】

#### (1) 指定医療機関の機能維持

- ・地域医療支援病院をはじめ、救急・災害・感染等の指定医療機関としての機能を継続し、地域医療の充実に寄与する。
- ・地域内外の医療機関との連携を密に推進しながら、効率のよい医療連携を推進する。
- ・地域の医療機関を対象とした各種研修を充実し、地域医療の質の向上に努める。

#### (2) 高度急性期機能の設置

急性期病床のうち10床を高度急性期病床に転換する。

5

## 3 具体的な計画

### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(平成35年)	2025年(平成37年)
高度急性期		10	10
急性期	94	84	84
回復期	106	106	106
慢性期			
その他			
合計	200	200	200

※感染症病床4床を除く

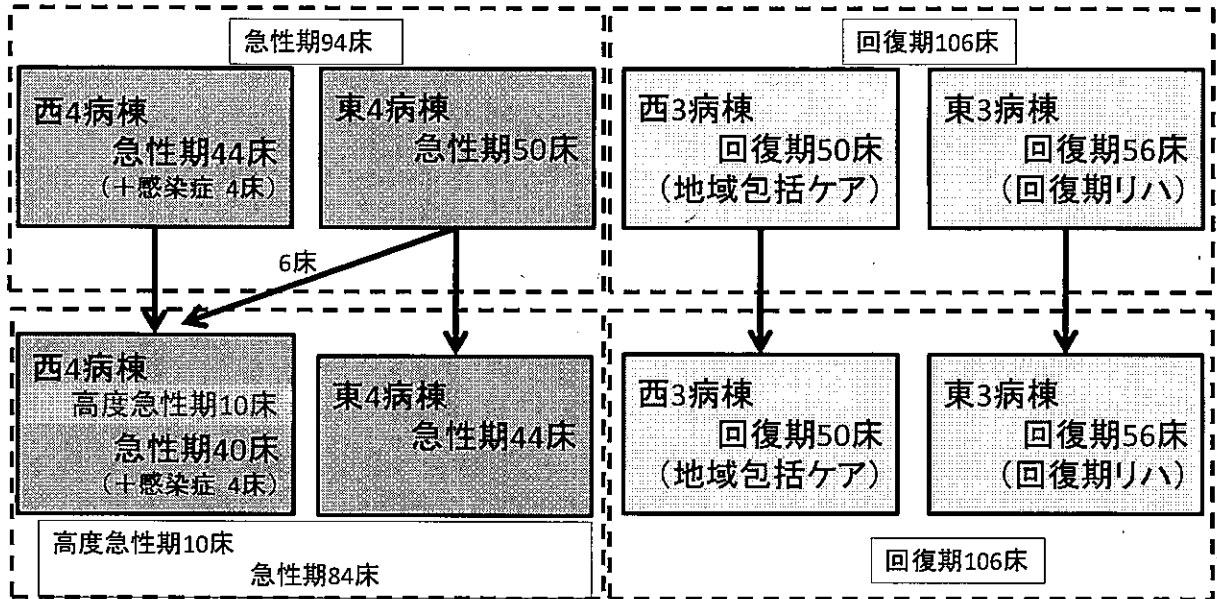
6

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【① 4機能ごとの病床のあり方 その2】

・2018年度事業計画において、現在の急性期機能94床・回復期機能106床から、高度急性期機能10床・急性期機能84床・回復期機能106床の形態へ移行する。



7

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【② 診療科の見直し】

	現時点 (2018年1月時点)	2025年	理由・方策
維持			
新設	【見直し…なし】		
廃止			
変更・統合			

8



### 3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点( 2018 年 1 月時点)	2025年
①病床稼働率	99.2%	90%以上
②紹介率	71.0%	50%以上
③逆紹介率	133.3%	70%以上

9

### 3 具体的な計画 (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

#### 【取組みと課題】

- ・病床稼働率、紹介率、逆紹介率のほか、平均在院日数や紹介患者の状況等について、院内に設置する病床管理委員会で適宜確認しながら、目標を達成し適正に運営できるよう調整する。

10

## 4 その他特記事項

### 【その他】

- ・今後、地域調整会議における意見等により、病床のあり方について柔軟に対応していく方針。